

福島原発事故に対する緊急声明

2011年3月16日

大阪府保険医協会 反核・平和委員会
大阪反核平和医療人の会

M9.0という東北関東大地震は、大津波によって多くの犠牲者を出すとともに、東京電力福島原発がつぎつぎに爆発事故を起こし、放射線汚染の濃度と範囲が広がるという緊急事態となっている。ことに第1原発3号機はプルサーマル発電でプルトニウムを使用しており、拡散した場合の危険は計り知れない。家や家族を失った上に被曝の不安にさらされている被災者の皆様の苦しみは察するに余りある。

世界で唯一、地震多発地帯の上に原発を建設してきた国策が、重大な誤りであったことが残念ながら証明され、原子力安全神話は崩壊したこととなった。チェルノブイリ原発事故を想起させる今回の事故は世界中から憂慮の眼で見られている。

私たち大阪反核平和医療人の会、は今回の災害にあわれた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、原発事故について国と東京電力に以下のことを強く求める。

1. 原発事故に関わる正確な情報を、迅速に収集し速やかに公表すること。
2. 事故処理に全力を傾け、事態の拡大を防止すること。
3. 住民の被曝拡大防止と、被曝者にたいする適切な治療を迅速におこなうこと。
4. 原発が、日本では稼働すべきではない危険なエネルギー発生装置であることが証明されたことを踏まえ、原発依存のエネルギー政策の転換に一刻も早く着手すること。